

事項	中苗を用いた水稲疎植栽培の1株植付本数は4～6本を目安にする		
ねらい	坪当たりの栽植株数が37株から50株の水稲疎植栽培について、中苗を用いたときの移植時における植付本数が収量、品質等に与える影響を明らかにしたので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 栽植株数が坪当たり37株から50株の疎植栽培における1株植付本数は、4～6本を目安にする。</p> <p>(1) 1株植付本数を4本としたときの幼穂形成期の㎡当たり茎数は、6本と比較してやや少なく、葉色値は高くなる傾向である。</p> <p>(2) 1株植付本数を4本としたときの成熟期の㎡当たり穂数は、6本と比較してやや少なく、1穂粒数がやや多くなる傾向であり、㎡当たり粒数は同等となる。また、登熟歩合、千粒重は同等となる。</p> <p>(3) 収量、玄米品質及び食味は、1株植付本数が4本と6本でほぼ同等となる。</p>		
期待される効果	坪当たりの栽植株数が37株から50株の水稲疎植栽培の1株植付本数の参考になる。		
利用上の注意事項	<p>1 移植時のかき取り本数を安定させるため、種子予措や播種作業、育苗管理を適正に行い、苗立ちを揃える。</p> <p>2 適正な水管理を行い、分けつの発生を促す。</p>		
問い合わせ先(電話番号)	農林総合研究所 作物部 (0172-52-4396)	対象地域	県内全域
発表文献等	平成23～24年度 試験成績概要集 (農林総合研究所)		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 幼穂形成期の生育量（平成23～24年 青森農林総研）

品種	株数 (株/坪)	植付本数 (本/株)	草丈 (cm)	茎数		生育量	葉色値 SPAD-502
				(本/株)	(本/m ²)		
つがるロマン	37	4	62.0	42.2	473	28,771	41.8
	37	6	61.9	44.6	500	30,490	39.7
	50	4	60.3	34.6	524	31,144	38.8
	50	6	60.4	38.0	576	34,267	38.2
	70	4	58.7	28.8	611	35,424	35.9
まっしぐら	37	4	62.1	44.1	494	30,398	39.9
	37	6	60.9	48.5	544	32,839	37.5
	50	4	60.4	36.4	551	33,293	37.2
	50	6	60.7	40.7	617	37,410	34.8
	70	4	59.5	28.9	612	36,337	34.6

(注) 生育量は草丈×m²当たり茎数から算出される指数

表 2 収量及び収量構成要素（平成23～24年 青森農林総研）

品種	株数 (株/坪)	植付本数 (本/株)	穂数 (本/m ²)	1穂粒数 (粒/穂)	粒数 (粒/m ²)	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	収量 (kg/a)
つがるロマン	37	4	363	92.9	33,564	87.5	22.7	61.0±6.9
	37	6	371	90.3	33,256	87.3	22.8	61.5±5.5
	50	4	368	87.0	32,001	88.1	22.8	60.2±4.4
	50	6	404	84.9	34,336	86.3	22.8	62.9±5.1
	70	4	414	83.1	34,455	85.5	22.9	62.9±4.5
まっしぐら	37	4	376	83.7	31,424	92.0	22.7	60.3±3.1
	37	6	394	79.1	31,078	91.3	22.7	60.0±3.1
	50	4	409	78.8	32,178	91.1	22.8	62.5±4.2
	50	6	440	75.1	33,082	91.1	22.8	64.4±3.4
	70	4	434	74.4	32,314	90.0	22.8	63.1±2.7

(注) 収量の数値は平均値±標準偏差

表 3 玄米品質及び食味値（平成23～24年 青森農林総研）

品種	株数 (株/坪)	植付本数 (本/株)	検査等級	整粒歩合 (%)	玄米蛋白 含有率 (%)	食味値
つがるロマン	37	4	3.3	80.8	7.4	74
	37	6	4.0	80.1	7.3	74
	50	4	3.1	80.9	7.2	75
	50	6	3.8	80.7	7.2	75
	70	4	3.4	80.2	7.2	75
まっしぐら	37	4	2.0	83.0	7.1	74
	37	6	1.8	82.5	7.0	75
	50	4	2.0	83.9	6.9	75
	50	6	2.0	81.5	7.0	74
	70	4	1.8	83.1	7.0	74

(注) 整粒歩合は穀粒判別器 (RGQI20: サタケ社製) による測定値。検査等級は1上を1、規格外を10として数値化した (1: 1上、2: 1中、3: 1下など)。玄米蛋白含有率及び食味値は米粒食味計 (CTA10C: サタケ社製) による測定値